

「ふつう」って何だろう？

－こどもの発達について考える－

<ご注意>

この資料は、2023年2月14日に当院で開催した保護者会でお配りした資料を一部抜粋して、再構成したものです。児童発達について理解を深める一助となれば幸いです。なお、他機関、他施設で二次利用を希望される方は、当院までご連絡をお願いします。

天心堂へつぎ病院 小児リハビリテーション

臨床心理士／公認心理師 赤木 雅普

集団の中の多数
= 普通？

ふ-つう【普通】

① [名・形動] 他の同種のものとは比べて特に変わった点がないこと。
それが当たり前であること。特別でなく、ありふれていること。
「ごく普通の考え」「普通の子」

② [副] たいてい。一般に。通常。

(参考：明鏡国語辞典／goo辞書)

↔ (対義語) 特別、特殊

通常の学級に入れば「ふつう」の子？

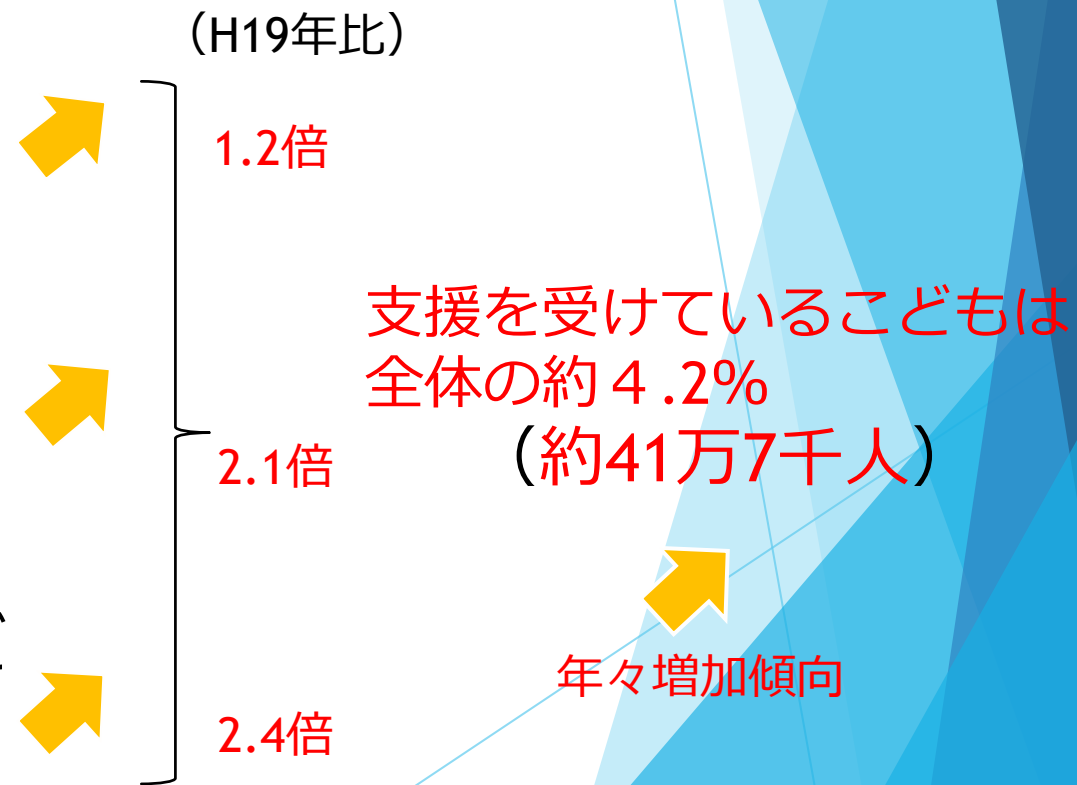
全国の小中学生 約989万人 → 減少傾向

支援を受ける
こどもは年々
増加しています

【特別支援学校】 約0.7% (約7万2千人)
知的障害、肢体不自由、聴覚障害など

【小学校・中学校】
●特別支援学級 約2.4% (約23万6千人)
知的障害、自閉症・情緒障害など

●通常の学級 (通級による指導)
言語障害、自閉症、ADHD、学習障害など
約1.1% (約10万9千人)

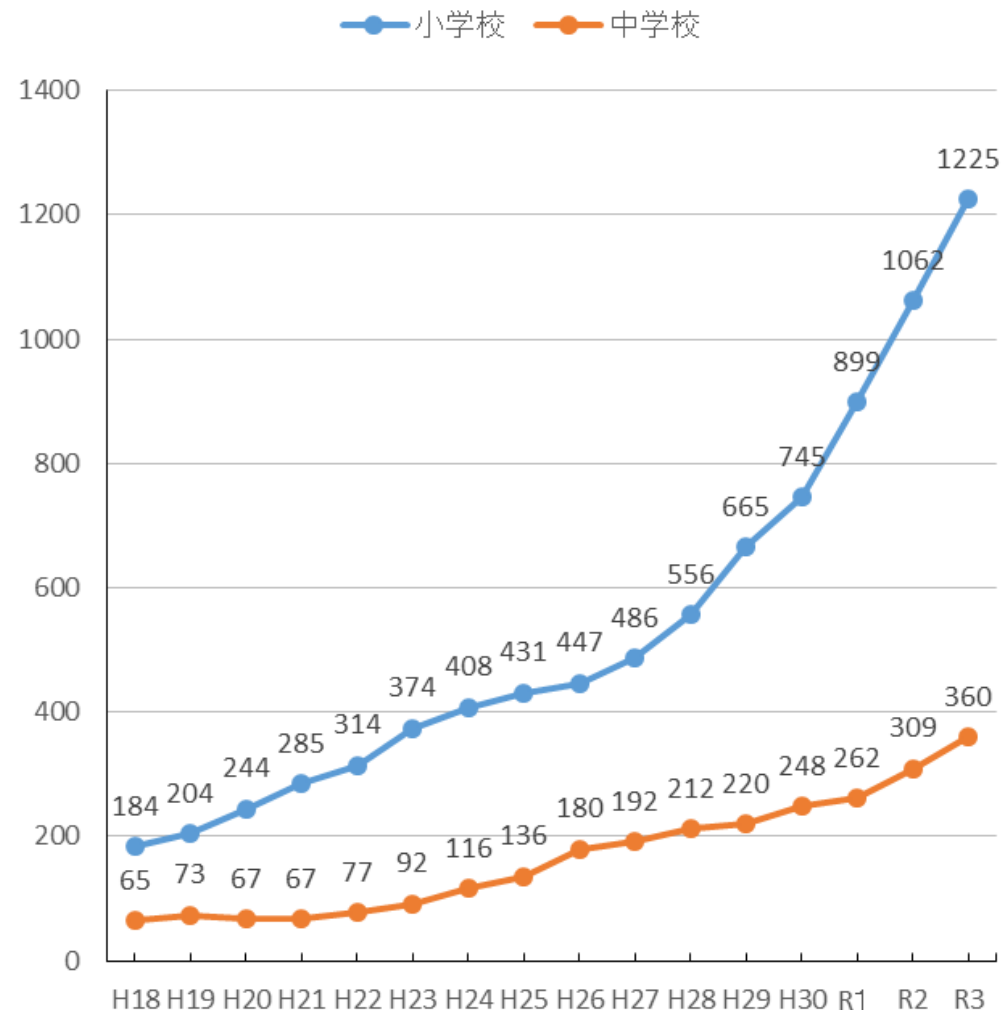


大分県でも支援学校や支援学級でサポートを受ける子どもは年々増加しています

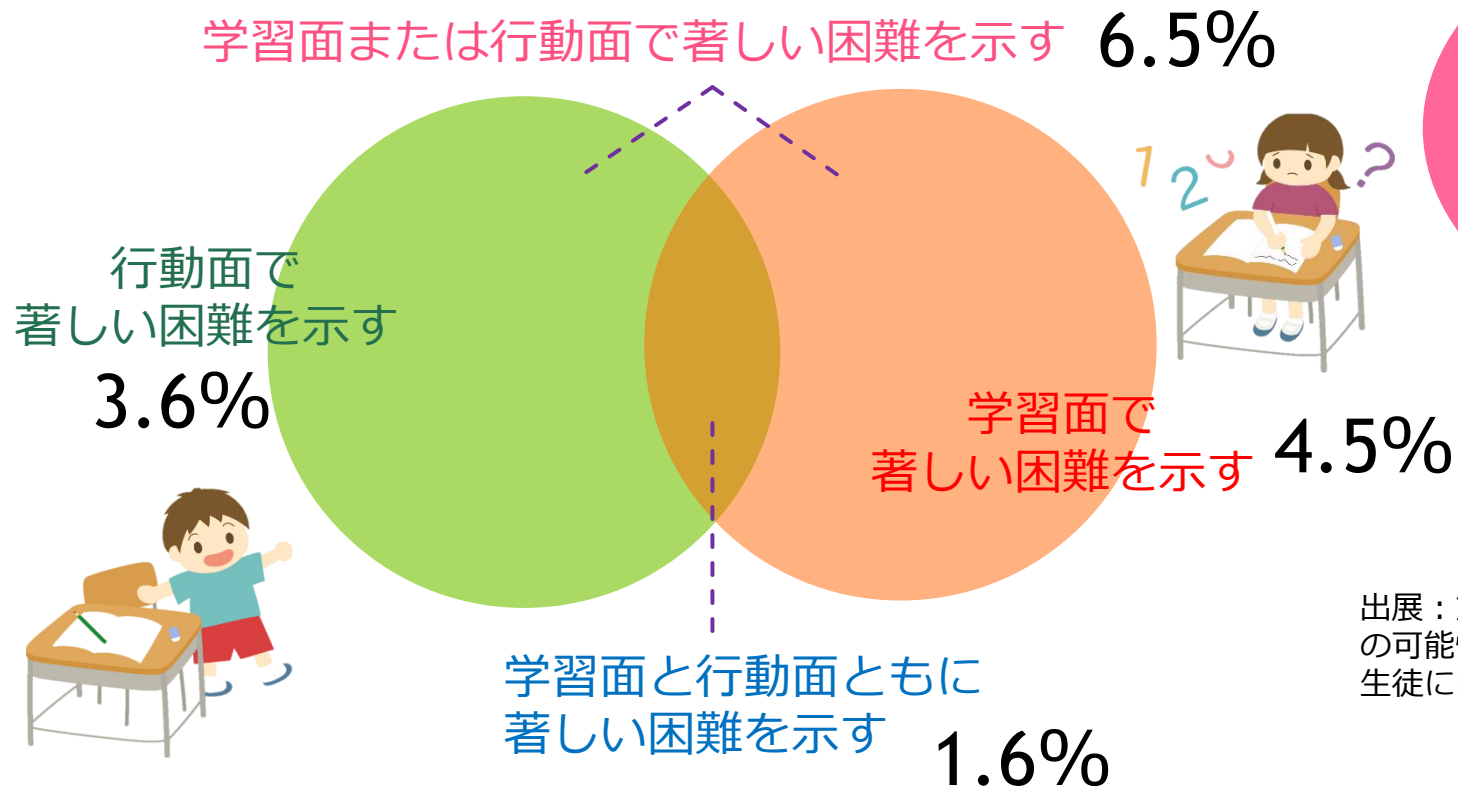
特別支援学級は大分市内だけで
78校279クラスあります
1585人の小中学生が在籍しています（R3年）

大分市内は16年間で
6.5倍に増加

大分市の特別支援学級在籍者の推移

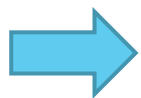


学校の先生から見た発達障がい



支援学校、支援学級以外にも支援を必要なこどもはまだまだいるということ

出展：文部科学省「通常学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」2012年

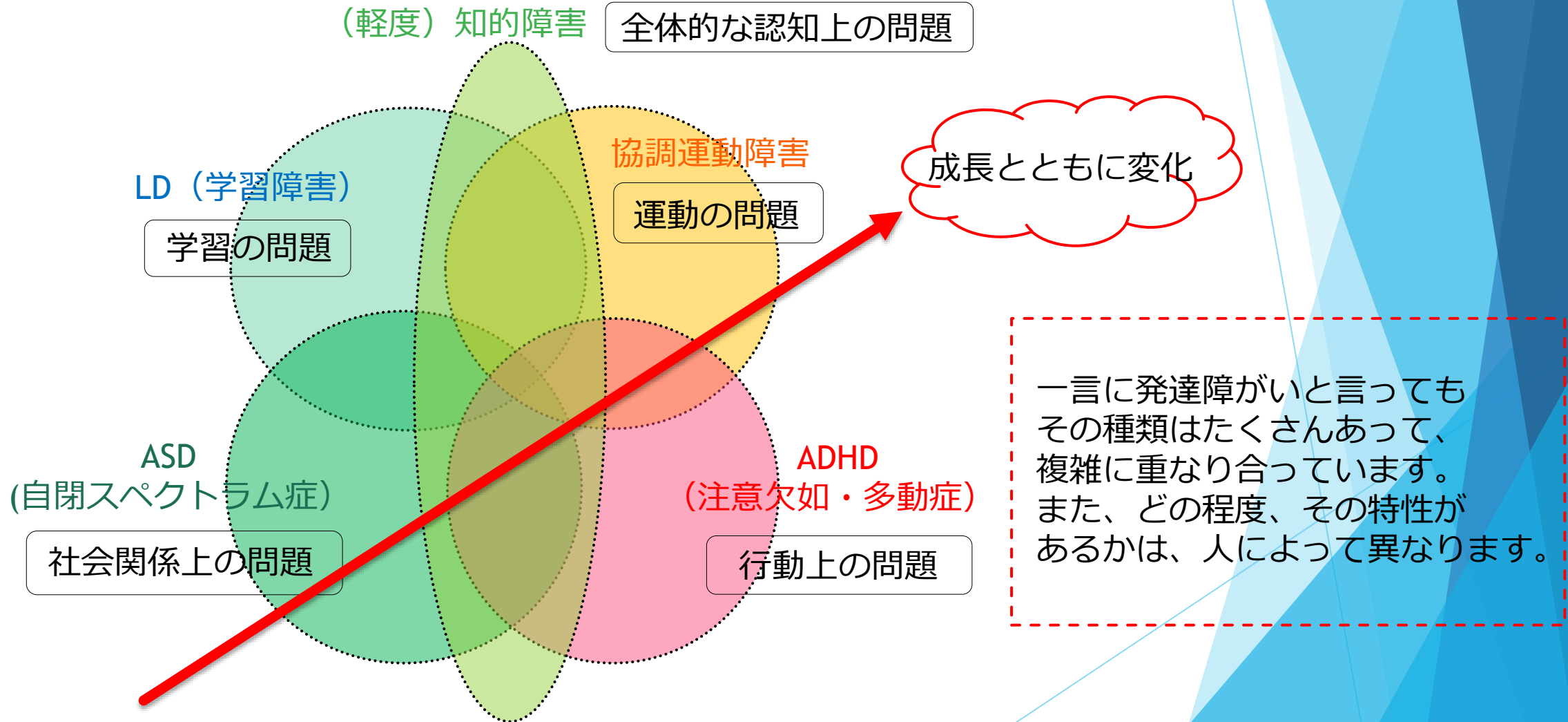


通常の学級に在籍するこどものうち、**1クラスに2~3人**のこどもが特別な支援が必要

つまり・・・合計すると、約10人に1人のこどもが発達障がい？
(約95~100万人)

「発達障がいスペクトラム」という考え方

それぞれの発達障がいの特性は重なり合い連続している場合があります。



ここまでのまとめ

発達障がいの特性は、
生まれつきのもので、変えられるものではない

- ①発達障がいの特徴（特性）は、脳の機能によるもので、
しつけの問題やこころの病気ではありません
- ②発達障がいの特性があっても、本人が困っていない場合や
支援の必要性がない場合は、診断はつきません

 つまり、発達障がいの診断を受けていなくても、
その特性を持っている人は世の中にたくさんいます

発達障がいが私たちの世界を作った

- ・ 織田 信長
- ・ 坂本 竜馬
- ・ レオナルド・ダ・ヴィンチ
- ・ モーツァルト
- ・ トーマス・エジソン
- ・ アルバート・アインシュタイン

歴史上の偉人の中には、
発達障がいの
特徴を色濃く持っていた
と考えられる人が
たくさんいます

発達障がいの特性を持つ人たちは、 現代でも大活躍

歌手や俳優、スポーツ選手、大企業の創業者、大学教授、
お医者さん、お笑い芸人やYoutuberなど・・・

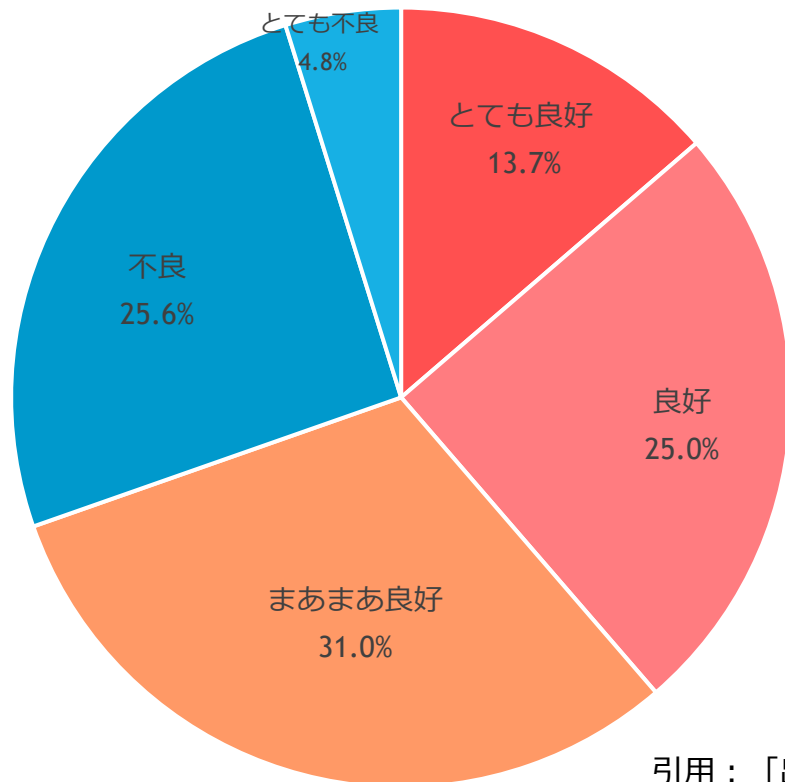
世界中で活躍している人たちの中にも、
発達障がいの特性も持った人が多くいると考えられます。

実際に診断を受けていることを公表している人もいます。

最新の研究では…

幼少期にASDと診断されたこどもの多くが、大人になった後、自立した生活を送っており、「ふつう」の人と同じように楽しく過ごしている

「社会参加」と「自立した生活」の総合評価



この割合は、発達障がい以外の人とおなじ割合

幼小期にASDの診断を受けた人の約7割が「ふつう」の社会生活を送っている

うまくいっている人の共通点は
「仕事と教育」 (96.4%)
「趣味と余暇活動」 (98.8%)
「スポーツ」 (82.1%)

引用：「出生コホートにおける7歳までの累積発生率調査で把握した自閉スペクトラム症の人たちの20年間の追跡調査」2022

発達障がいとはふつう？ とくべつ？

① 発達障がいは少数派なだけ

発達障がいは、脳の働きの面では少数派ではありますが、
けっして多数派に比べて劣っているわけではありません。

② 苦手なことがある その分、得意なこともある

発達障がいの特性があっても、多くの人には「ふつう」に楽しく
過ごしています。

また、その少数派ならではの特性を活かして、「ふつう」の人以上に
社会の中で活躍している人もいます。

**社会全体は1人1人の多様性を受け入れて、どのような人も
生きやすい社会に向かって変化しています**

一方で、学校はどうでしょう？

学校は特別な場所

もともとより多くのこどもに均質な教育を行うことが目的



① 評価が学習面に偏ってしまう

こどもの得意・不得意は様々だが、評価は学習面に偏ってしまう

② 出る杭は打たれやすい

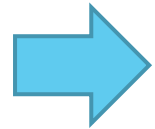
一人一人の先生は多様性を受け入れることが大切と考えていても、全体としては、まだまだ協調性や社会性が重要視されやすい

③ 学校では、クラスメートや先生を選べない

ここが大人の社会との一番の違い

つまり・・・

**興味関心が特別で、考え方が個性的で、
学習やコミュニケーションに苦手なことがあるこどもたち、
つまり、発達特性を持ったこどもが、
学校で困ることが多くて当たり前です。**



社会に出れば、その特性を活かして、活躍したり、
楽しんだりできるので、学校にいる間は親や先生が
注意してサポートしてあげましょう！

親ができること

① 「特性の理解」と「環境調整」

苦手なことはほどほどに頑張っ、得意なことでカバー

大好きなことを見つけて、たくさん楽しめるようサポートを

何か問題があるときは、本人を変えるよりも
「今、この子に何がしてあげられるだろう」

特性に合わせた「環境作り」（例：静かな環境、マイペースに取り組む、など）

全て自分で出来なくてもいい 困った時は、頼ってもいいという雰囲気作り

**「ふつう」になることがゴールではなく、
「好き」なことを見つけて、楽しく生きていくことが目標です**

②行動や考え方は変えられる

特性そのものは思い通りに変えることはできませんが、
行動や考え方は、変えることができます

問題となる行動を変えること、困りが少なくなる方法を身につけることが目標です。

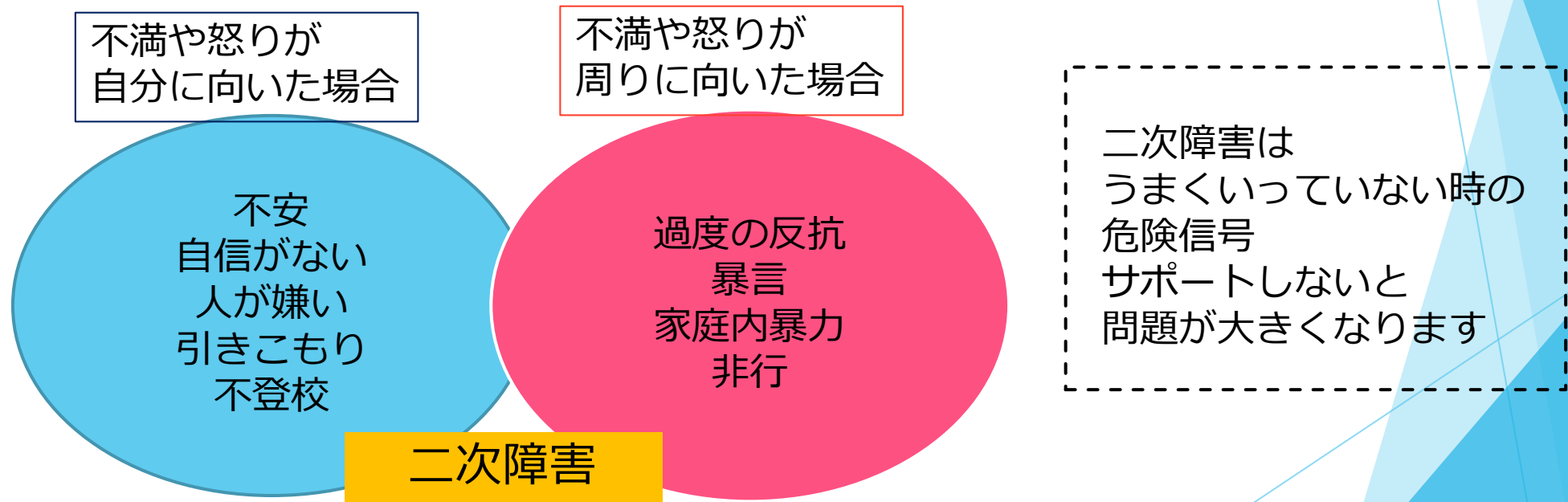
また親の方も考え方が変わると、
こどもとの関わり方が分かったり、色々なサポートのアイデアがわいてきます

小児リハビリでは、こどもの苦手なところの発達を促すとともに
行動・考え方の変化も目指しています

③二次障害を防ぐ

最重要！

一次障害（＝発達特性）のため、うまくいかない経験を積み重ねたり、周りの人に叱られすぎたりすると、二次障害が起こります。周囲の人のサポートで、二次障害を起こさせない、もしくは、起きてしまっても大きな問題にならないことを目指しましょう。



※二次障害が起これなければ、発達障がいには大きな問題ではありません

最後に

発達障がいの特性を持つ人は、苦手なことがある分、人よりも得意なことがあったり、好きなことに人一倍夢中になることができます

夢中になれることが見つかって、自分に合った生き方を身につけて、生活の中で困ることが少なくなって、苦手なこともまだあるけど頑張れば大丈夫と感じられるようになったらそのときは

発達障がいはもう「ただの個性」と言ってもいいかもしれません

現代社会では、色々な情報があふれています

色々な情報を見てみると、
あたかも周りの人がみんな「ふつう」のような気がして、
不安になってしまうこともあると思います

周りを見て「ふつう」を目指すよりも
1人1人の「とくべつ」を見つけてみませんか

<参考文献・資料>

- 「日本の特別支援教育の現状について」文部科学省有識者会議
「大分市特別支援教育資料」city.oita.oita.jp
「通常学級に在籍する発達障害の可能性のある特別な教育支援を必要とする児童生徒に関する調査結果について」文部科学省調査
「発達障害の子どもの心と行動がわかる本」田中康雄監修
「自閉スペクトラムがよくわかる本」本田秀夫監修
「自閉スペクトラムの子どもたちをサポートする本」榊原洋一著
「ADHDの子の育て方のコツがわかる本」本田秀夫他監修
「出生コホートにおける7歳までの累積発生率調査で把握した自閉スペクトラム症の人たちの20年間の追跡調査」岩佐光章他
「さかなクンの一魚一会～まいにち夢中な人生！～」さかなくん著